光る知性　豊かな心　強い意志

南中生

長井市立長井南中学校
令和 6年 7月 12日
校長　柿　崎　　円

【学校研究テーマ】

問いをもとに学びを深め、主体的に課題を解決する生徒の育成





～子どもの学びの姿から考える～

これからの社会は変化が激しく予測困難な時代と言われています。子ども達が変化の激しい時代をたくましく、しなやかに生き抜くためには、強い関心や意志を原動力に、知恵を駆使しながら、他者と関り、目の前の困難を粘り強く乗り越えていく力が必要です。一昨年度から学校研究テーマを「問いをもとに学びを深め、主体的に課題を解決する生徒の育成」とし、日常授業の充実と改善に取り組んでいます。

７月９日（火）に授業研究会（２年４組「道徳」教諭・２年３組「理科」　　教諭）を実施しました。早稲田大学名誉教授 小林宏己先生と市教育委員会の指導主事の先生にご助言をいただきました。

道徳では、国境なき医師団の貫戸朋子さんの体験をもとに命の大切さについて考えました。自分の考えと仲間の考えを比べながら、自分ならどうするか？命を大切にするためには？を時間いっぱい考えました。理科では、二酸化炭素中でマグネシウムが燃焼した理由を実験と化学反応式から考えました。授業後、学んだことを理科室から教室に戻るまで、授業で学んだことをずっと話している女の子達の姿を見ました。その後の給食準備時間も、理科の授業のことでもちきりだったそうです。

生徒の「なぜ？」を生み出す課題設定の工夫に力を入れ、「わかった！」「できた！」という成就感や達成感を味わい、次の意欲や学力の向上につながる授業づくりに取り組んでいきます。





身につけよう ネットリテラシー

ネットリテラシーとは、インターネットを正しく安全に使用するための知識と能力のことです。ネットリテラシーが低い世代は、「インターネットに触れる機会が少ない世代」（高齢者・インターネットをあまり利用しない人・インターネットを利用し始めたばかりの人）と「インターネットの使い方や危険性について、意識していない世代」（インターネットの便利さに慣れてしまった人・危険性について深く考えていない人）だそうです。ネットリテラシーを身につけるために必要な事項を調べてみました。

★ネットリテラシーに必要な知識・技能・態度



知識
- ネット利用に関連する法律と規則
- セキュリティ対策
- インターネット上の詐欺行為についての知識
- トラブルへの対処方法などの知識

技能
- インターネット操作のスキル
- 情報の検索・収集・加工・活用するスキル
- オンラインコミュニケーションスキル
- 信頼できる情報源を判断するスキル

態度
- 自分のプライバシーの保護
- 他人のプライバシーの保護
- 人権の尊重
- 冷静な態度を保つこと

★ネットリテラシーが低いと起こる問題

- **プライバシーの侵害**
- **個人情報漏洩** → なりすまし・架空請求・投資詐欺・嫌がらせ・ストーカー被害
- **オンラインハラスメント** → 誹謗中傷・脅迫・いじめ
- **フェイクニュースやデマの拡散** → 法律に違反する可能性
- **オンラインでの悪意ある接触** → 子どもをターゲットにした犯罪が起こる可能性
- **ネット依存症** → 社会的孤立・学業や仕事への影響・肉体的健康への影響・心理的影響
- **デジタルフットプリント** → インターネット上で残る活動の痕跡（記録）

★ネットリテラシーを高める方法

情報を受ける側
- **情報の信頼性を判断する力を身に付ける** → 正しくない情報も発信されていることを知る
- **個人情報の取扱いに注意する** → 信頼できるサイトに最小限・パスワードは複雑に設定する
- **インターネットの利用ルールを守る** → 個人情報流出やウイルス感染を防ぐ・怪しいサイトへアクセスや怪しいメールの開封はしない

情報を発信・書き込む側
- **情報の発信目的を明確にする** → 目的が明確でない情報は誤った情報発信やトラブルのもと
- **情報の内容に責任を持つ** → 誤った情報や他人を傷つける情報は大きな問題へ発展する可能性あり
- **インターネットの利用ルールを守る** → 著作権侵害・誹謗中傷・脅迫・噂・フェイクニュースの拡散は法律に違反する可能性あり

子どものネットリテラシーを高めるためには保護者の役割が非常に重要です。子ども達がインターネットを安全･効果的に利用できるようサポートをお願いいたします。

★インターネットの基本ルールを教える
★フィルタリング機能を利用する
★親子でのコミュニケーションを大切にする
★プライバシー設定を一緒に確認する
★ウイルス対策等のセキュリティソフトを利用する

（ウェブサイト：Spaceship　Earth より引用）